

# 保育における水遊びの効果に関する一研究

—投影樹木画法における成長指標 (GCL) とトラウマ指標 (TCL) からの検討—

大 辻 隆 夫

(児童学科助教授)

塩 川 真 理

(本学非常勤講師, 臨床心理士)

田 中 野 枝

(平成16年度研修者, 臨床心理士)

## 問 題

保育における水遊びについては、子どもにおける成長的意義と治療的意義の2つの視点からその有用性が指摘できる。

たとえば平井ら (1996) が保育における水遊びの成長的意義として、水を介して得られる様々な刺激が心や身体の健全さを維持すると述べている。また Kami ら (1958) は水自体に心を和ませる性質があり、水の持つ特別な性質が子どもの快適感や精神的、感覚的な面に影響を及ぼすとしている。さらに水は可変的ですぐれた遊具であり、子どもたちの心を裸にし、解放し (安江, 1994)、水の中で全身を使って遊ぶことは皮膚への刺激にもなり、身体各部を調和的に発達させ、また感覚的快感を与える (岡田, 2001) というように、水遊びが子どもの心身の健全な成長にとって極めて有用であることを示唆している。

一方、水遊びの治療的意義については、Hartley (1952) が、水遊びが子どもの攻撃衝動を解消するのに有用であると指摘している。この例として彼は、攻撃衝動が強い3歳女児が玩具遊びから水遊びに転じたときに劇的に彼女の攻撃衝動を鎮静化させ落ち着きを取り戻した観察例をあげている。彼女の水遊びは①ボトルの水をミニバスタブに注ぐ→②自分の顔にかける→③床に滝のように流す→④床一面にまき散らすという局面を見せて展開した。これは子どもが怒りや反抗、敵意といった攻撃衝動を直接表出できないときに通常の玩具遊びよりも水遊びを通

して表出することが極めて有効である場合を示すものである。さらに彼は、水遊びが子どもの心を解放させ活気づける効果を示した4歳男児の観察例をあげている。そこでは親から極端に禁止されている4歳男児が、水遊びをすることによって刺激され、勇気づけられ、ますます自由になり、社会的接触を積極的におこなうようになるプロセスが示されている。そして、水遊びが孤独 (solitary) で見捨てられ感 (lost) を持つ子ども、3歳半女児 Marion の観察例において浄化的効果があることも明らかにしている。これについては、高野 (1988) も同様に、水遊びは臆病で非社会的な子どもに対しては自信を強め、活発になることを誘発させ、落ち着きのない子どもに対しては一種の鎮痛剤的效果を発揮すると述べている。

このように水遊びの治療的意義は、子どもの攻撃衝動の表出と解消、心の鎮静化と活性化、さらに見捨てられ感の解消等多岐にわたっている。

本研究では保育における水遊びの意義について上記の問題意識にたって、つまり水遊びに関する成長的・治療的意義という視点から投影樹木画法 (projective tree drawing technique) を導入して実証的に検討することを目的とする。

投影樹木画法は描画者の伝記的状況、つまり人生における過去の重大な経験にまつわる葛藤やトラウマを反映するとされており、現在は児童虐待の早期発見の道具の1つとして危機査定のためのツールとして用いられている (大辻, 2002)。本研究では投影樹木画法に関する臨床的査定ツールとしての成長指標である GCL

(Growth Check List, 表1) とトラウマ指標である TCL (大辻, 2002) を用いて投影樹木画(以下, 樹木画と呼ぶ) の査定をおこなう。

GCL は樹木画に表現されたトラウマからの回復を示唆する描画特徴のことであり, RTCL (Recovery from Trauma Check List, 大辻・上川, 2002) と呼ばれるが, 本研究では保育における幼児の成長に主眼をおくため成長指標としての GCL を使用する。また TCL は Cantlay (1996) のトラウマ指標を中心として Oster & Gould (1987), Oster & Montgomery (1996) の指標, さらに Hammer (1997), Jolles (1971), Ogdon (1977) 及び Wohl & Kaufman (1985) らが指摘する指標をすべて折り込み再構成したものである (大辻, 2002)。

したがってまず第1に, GCL を子どもたちの水遊び前後に実施した樹木画の査定に適用し, 水遊びの成長的意義について検討する。次に水遊びの治療的意義について, TCL を適用し検討をおこなう。

本研究では上記の GCL と TCL を用い, GCL の出現と TCL の減少から保育における水遊びの効果を検討することを目的とし, 以下の2点の仮説をたてた。

- ① 水遊びにより子どもにトラウマからの回復, つまり心理的成長が見られる。
- ② 水遊びにより子どものトラウマが減少する。

また, ここでいうトラウマは, 狭義の心理的トラウマはもちろん, 子どもが日常生活上経験する心理的ストレスや葛藤ないしは緊張なども含む広義の概念として用いる。

### 対象と方法

保育における水遊びの効果を検討するために, 本研究では, 以下に述べる2つの実験をおこなった。実験Iでは短期の水遊びと自由遊びとの比較における水遊び効果を, また実験IIでは, 7月初旬から8月末まで約2ヶ月間の継続プログラムとして実施された長期の水遊びの検討により, その効果を明らかにしようとするもので

ある。

### 実験 I

対象: 短期水遊び保育群; 保育園年長児男女23名。短期自由遊び保育群; 保育園年長児男女24名。

方法: 被験児全員に保育に入る前に集団実施法によって投影樹木画法(教示「木を1本描いてください。」)を実施した。1回目の各群それぞれ30分間の水遊びあるいは自由遊びをおこない, その後2回目の投影樹木画法を実施した。なお, 水遊びの内容は, 穴を開けたペットボトルを利用した水のシャワーや水の掛け合いやホースを使った水のトンネル等, 30分間の保育である。一方, 自由遊びの内容は, 室内での絵本やブロック, ままごと等, 特に設定のない30分間の保育である。

### 実験 II

対象: 長期水遊び群; 年中児および年長児45名。

方法: 7月4日から8月末日まで, 計39日間(土日と盆休みを除く毎日)の水遊び保育の前・中・後に投影樹木画法を実施した。本研究ではそのうちの前・後の描画のみをマテリアルとして使用する。この長期の水遊び保育では, プール用滑り台やビーチボール, 水鉄砲等の遊具を用いた水遊びを保育園の屋外プールと近隣の市民プールを利用して実施した。水遊び時間は, 毎回15分×2セッション(休憩10分)と設定した。

### 分析方法

本研究では投影樹木画法の4つの分析方法である印象分析法, 項目分析法, 象徴解釈法及び関係年齢分析法(大辻, 2004)のうち, 項目分析法を用いて被験児の樹木画をすべて GCL および TCL に照らして分析査定をおこなった。

表1 樹木画における成長指標 (GCL)

|                    | No.    | 成長指標                                   | 指標の解釈                                    |
|--------------------|--------|----------------------------------------|------------------------------------------|
| I<br>全体            | 1      | 大きすぎる木のサイズの縮小                          | 攻撃的傾向, 行動の誇示の緩和, 想念, もしくは神経質さの減少。        |
|                    | 2      | 小さすぎる木のサイズの拡大                          | 劣等感, 無価値感の緩和, Self-esteemの向上。            |
|                    | 3      | 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化                     | 不適応感, 優柔不断感の緩和, 新たな役割への意欲, 自我同一性。        |
|                    | 4      | 2本線の幹と円冠で構成された木の解消                     | 衝動性, 回帰性の緩和。                             |
|                    | 5      | 細かい破線の解消                               | 顕在的不安の緩和。                                |
|                    | 6      | 8歳以降に見られる果実: 多すぎる果実の減少                 | 自己を消耗させる依存欲求の緩和。                         |
|                    | 7      | 描画スタイルの相違の解消: 2次元の幹と1次元の枝から2次元の幹と枝への変化 | 後年のトラウマによって阻害された発達の解消。                   |
|                    | 8      | 過度に濃い陰影もしくは強化された陰影の緩和                  | 敵対的防衛もしくは攻撃的行動の緩和。                       |
|                    | 9      | 細部への過剰な描画の緩和                           | 危険な世界に対する知覚, 自我統制の保持にまつわる葛藤の緩和, 強迫性の緩和。  |
| II<br>配置           | 10     | 11歳以降に見られる底辺縁への配置の解消                   | 未成熟の徴候の改善。                               |
|                    | 11     | 用紙の偏りの緩和: 均等な空間配置                      | 男性的および女性的支配性の影響を受容できる適切な関係性, 精神的発達の統合。   |
| III<br>枝           | 12     | 葉のない枝, 1次元の枝, 及び扇形の枝の解消                | 衝動性, 傲慢, 不安定傾向の緩和。                       |
|                    | 13     | 1次元2次元の枝への変化                           | 阻害された発達の改善, 対人関係から満足を得る能力の増加。            |
|                    | 14     | 枝の上部への自然な広がり, 枝の成長                     | 成長の可能性や意欲, 活動性。                          |
|                    | 15     | 元が開放している上向きの枝                          | 努力や考え方が全体と有機的に関連している。自己一致。               |
|                    | 16     | 枝の分岐                                   | 個人の成長や感知力の成長。                            |
|                    | 17     | 関係性が良好な枝の形態                            | はっきりとした指向性, 対人関係から満足を得る能力。               |
|                    | 18     | 折れ枝の解消                                 | トラウマによる損傷感の減少。                           |
|                    | 19     | 新しい枝                                   | 環境に対する信頼感の増加, 新しい期待や活動。                  |
|                    | 20     | 切り株から出た小枝                              | 情緒的成長。                                   |
|                    | 21     | 地面からはえた苗木, 若い木                         | 未成熟感, 退行傾向, 再出発の意欲。                      |
| IV<br>樹冠<br>/<br>葉 | 22     | 頂上の切断, 扁平な頂上部の枝構造の改善                   | 社会的孤立感の減少, 苦痛を伴う想念生活の拒否, あるいは否定の改善。      |
|                    | 23     | 円環状の樹冠の解消                              | 衝動性, 回帰性の改善。                             |
|                    | 24     | 幹に覆い被さる樹冠の解消                           | 自己内部の空虚感の減少。                             |
|                    | 25     | 閉じられた樹冠の解消                             | 包囲, 自己表出の禁止に関する改善。                       |
|                    | 26     | 開いた樹冠と小枝を持つ樹冠                          | 内的エネルギーの良好な流れ。                           |
|                    | 27     | はっきりとした数枚の葉を持つ茂み                       | 対人関係における交流の濾過作用, 好奇心や感覚を生かそうとする欲求の増加。    |
|                    | 28     | 枝の先端に描かれたつぼみ                           | 将来開花するだろうという期待の態度, 自己統制や想像力の統制。          |
|                    | 29     | 枝の先端の花                                 | 喜びの表現。                                   |
|                    | 30     | セラピー過程で描かれる満開の花をもつ樹冠                   | 適応感, 達成感, および将来や成長に対する楽観。                |
|                    | V<br>幹 | 31                                     | 濃い陰影の減少                                  |
| 32                 |        | 強調しすぎの幹の解消                             | 情動の未熟性の緩和。                               |
| 33                 |        | 幹の輪郭線の統合                               | 不安, 不安定, 衝動性の緩和。                         |
| 34                 |        | 幹の輪郭線のはっきりとした線                         | 人格の基本的な強さ, 弱い線からの変化: 差し迫った自我破滅感の解消。      |
| 35                 |        | 平行で歪曲のない幹, 適度な幅                        | 基本的自我の強さの保持, 本能エネルギーの健全な認識と調和した昇華。       |
| 36                 |        | 幹の成長(長さ)                               | 個性の成長。                                   |
| 37                 |        | 傷, 穴, 節穴の消失                            | トラウマによる損傷感の減少。                           |
| VI<br>根            | 38     | 細い根, 透視される根の解消                         | 理解力および現実感の増加。                            |
|                    | 39     | 強調しすぎの根の解消                             | 不全感の減少, 過度な情動反応。                         |
|                    | 40     | 地平線の出現                                 | ストレスに対する傷つきやすさや不安の解消。                    |
|                    | 41     | 地平線がある根の出現                             | 抑圧された情動の解消, 良好な環境関係。                     |
| VII<br>付加的要素       | 42     | 鳥                                      | 内的自由, 自由を求めたい欲求, 明るい気分や希望, 安定性。          |
|                    | 43     | 巣箱の近くにいる鳥                              | 他者を情緒的に支持しようとする善意。                       |
|                    | 44     | 節穴における動物の出現                            | 肯定的な意味の付加。                               |
|                    | 45     | 太陽                                     | 暖かさ, 力の源: 権威像, 両親像。                      |
|                    | 46     | 太陽の位置                                  | 木の暖かさや力の源との関係。しばしばエスと権威的な環境像との間の関係を象徴する。 |
|                    | 47     | 太陽からの光線, スポットライト                       | 権威像からの被支配的感情, あるいは支配されたい欲求。              |

## 結果

各群の園児における特徴的な樹木画例を図1～3に示す。

### 1. GCLによる水遊び群と自由遊び群の比較

水遊び群の園児の樹木画は、自由遊び群の園児と比較して、GCLにおける成長指標が有意に多く出現した(表2)。また、成長的变化項目として、「陰影の緩和」「平行で歪曲のない幹、適度な幅」「幹の成長(長さ)」等が該当項目として検出された(表3)。

表2 保育後の短期水遊び群及び短期自由遊び群の成長指標(GCL)の出現度

|     | 水遊び群(n=23) |       | 自由遊び群(n=24) |       | $x^2$ |
|-----|------------|-------|-------------|-------|-------|
|     | 成長指標有      | 成長指標無 | 成長指標有       | 成長指標無 |       |
| 出現度 | 22         | 1     | 12          | 12    | 7.69* |

\*  $p < .01$

表3 保育後の短期水遊び群における成長指標(GCL)の出現項目

| 類出順 | 成長指標                        | 人 | %  |
|-----|-----------------------------|---|----|
| 1   | 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化(No.3)    | 8 | 35 |
| 2   | 平行で歪曲のない幹、適度な幅(No.35)       | 5 | 22 |
| 2   | 幹の成長(長さ)(No.36)             | 5 | 22 |
| 4   | 過度に濃い陰影もしくは強化された陰影の緩和(No.8) | 4 | 17 |
| 5   | 幹の輪郭線のはっきりとした線(No.34)       | 3 | 13 |
| 5   | 太陽(No.45)                   | 3 | 13 |
| 7   | 濃い陰影の減少(No.31)              | 2 | 9  |
| 7   | 地平線の出現(No.40)               | 2 | 9  |
| 7   | 鳥(No.42)                    | 2 | 9  |
| 10  | 用紙の偏りの緩和(No.11)             | 1 | 4  |
| 10  | 枝の上部への自然な広がり、枝の成長(No.15)    | 1 | 4  |
| 10  | 枝の分岐(No.16)                 | 1 | 4  |
| 10  | 新しい枝(No.19)                 | 1 | 4  |
| 10  | 頂上の切断、扁平な頂上部の枝構造の改善(No.22)  | 1 | 4  |
| 10  | 幹の輪郭線の統合(No.33)             | 1 | 4  |
| 10  | 傷、穴、節穴の消失(No.37)            | 1 | 4  |

### 2. TCLによる水遊び群と自由遊び群の比較

TCL 該当項目においては両群に有意な差は認められなかった(表5)。

表4 保育後の短期自由遊び群における成長指標(GCL)の出現項目

| 類出順 | 成長指標                        | 人 | %  |
|-----|-----------------------------|---|----|
| 1   | 幹の成長(長さ)(No.36)             | 6 | 25 |
| 2   | 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化(No.3)    | 2 | 8  |
| 2   | 平行で歪曲のない幹、適度な幅(No.35)       | 2 | 8  |
| 2   | 傷、穴、節穴の消失(No.37)            | 2 | 8  |
| 5   | 小さすぎる木の拡大(No.2)             | 1 | 4  |
| 5   | 過度に濃い陰影もしくは強化された陰影の緩和(No.8) | 1 | 4  |
| 5   | 関係性が良好な枝の状態(No.17)          | 1 | 4  |
| 5   | 新しい枝(No.19)                 | 1 | 4  |
| 5   | 頂上の切断、扁平な頂上部の枝構造の改善(No.22)  | 1 | 4  |
| 5   | はっきりとした数枚の葉を持つ茂み(No.27)     | 1 | 4  |
| 5   | 濃い陰影の減少(No.31)              | 1 | 4  |
| 5   | 幹の輪郭線のはっきりとした線(No.34)       | 1 | 4  |
| 5   | 巣箱の近くにいる鳥(No.43)            | 1 | 4  |

表5 保育前後の水遊び群と自由遊び群トラウマ指標(TCL)の変化比較

|             | 増加 | 変化なし | 減少 | $x^2$ |
|-------------|----|------|----|-------|
| 水遊び群(n=23)  | 4  | 9    | 10 | n.s.  |
| 自由遊び群(n=24) | 4  | 13   | 7  | n.s.  |

### 3. 長期水遊び群のGCLによる検討結果

実験IIでは約2ヶ月にわたる継続的な水遊び保育の効果について調査した。このプログラムに参加した園児45名の水遊び保育開始前と終了後の樹木画をGCLに照らして項目分析をおこなった結果、45名中39名にGCL 該当項目が出現した(表6)。また、該当項目「幹の成長」「用紙の偏りの緩和」「小さすぎる木の拡大」など成長指標が検出された。

表6 保育後の長期水遊び群における成長指標(GCL)の出現度

|        | 成長指標 |   | $x^2$   |
|--------|------|---|---------|
|        | 有    | 無 |         |
| 出現度(人) | 39   | 6 | 10.42** |

\*\*  $p < .001$  (n=45)

表7 保育後の長期水遊び群における成長指標 (GCL) 出現項目

| 頻出順 | 成長指標                          | 人  | %  |
|-----|-------------------------------|----|----|
| 1   | 幹の成長 (長さ) (No. 36)            | 28 | 62 |
| 2   | 用紙の偏りの緩和 (No. 11)             | 20 | 44 |
| 3   | 小さすぎる木の拡大 (No. 2)             | 18 | 40 |
| 4   | 地平線の出現 (No. 40)               | 9  | 20 |
| 5   | 平行で歪曲のない幹, 適度な幅 (No. 35)      | 8  | 17 |
| 6   | 過度に濃い陰影もしくは強化された陰影の緩和 (No. 8) | 6  | 13 |
| 7   | 濃い陰影の減少 (No. 31)              | 5  | 11 |
| 7   | 幹の輪郭線のはっきりとした線 (No. 34)       | 5  | 11 |
| 9   | 新しい枝 (No. 19)                 | 4  | 9  |
| 9   | 傷, 穴, 節穴の消失 (No. 37)          | 4  | 9  |
| 11  | 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化 (No. 3)    | 2  | 4  |
| 11  | 鳥 (No. 42)                    | 2  | 4  |
| 13  | 枝の上部への自然な広がり, 枝の成長 (No. 14)   | 1  | 2  |
| 13  | 枝の分岐 (No. 16)                 | 1  | 2  |
| 13  | 頂上の切断, 扁平な頂上部の枝構造の改善 (No. 22) | 1  | 2  |
| 13  | はっきりとした数枚の葉を持つ茂み (No. 27)     | 1  | 2  |
| 13  | 枝の先端の花 (No. 29)               | 1  | 2  |
| 13  | 節穴における動物の出現 (No. 44)          | 1  | 2  |
| 13  | 太陽 (No. 45)                   | 1  | 2  |

4. 長期水遊びの TCL による検討結果

同じく, TCL に照らして項目分析をおこなった結果, 45名のうち17名に TCL 該当項目の減少が見られた (表8) が, 有意な差は認められなかった。

表8 保育前後の長期水遊び群におけるトラウマ指標 (TCL) の出現度

|         | 増加 | 変化なし | 減少 | $\chi^2$ |
|---------|----|------|----|----------|
| 出現度 (人) | 11 | 16   | 17 | n. s.    |

(n=45)

考 察

遊びが子どもにとってかけがえのない経験であり, それ自体が子どもの心身の成長を促し, 子どもを活性化させることについては論を待たないであろう。今回は中でも, 保育における水

遊びについて実証的にその効果を検討することを試みた。これは, 水遊びについては Hartley の観察例を見るまでもなく遊戯療法における治療効果が実証されているにもかかわらず, いわゆる保育における水遊びについてはあまり実証的研究がすすんでないことに端を発する。

本研究の目的は, 保育における水遊びの意義について実証的に検討することであり, 保育園の年中児・年長児を対象として投影樹木画法を実施し, 自由遊びとの比較において, また水遊び期間の長短の比較において, その効果を調査した。そこで, 水遊びの効果については, ①子どもの心理的成長を予想するものとしての成長効果と②子どもの心理的ストレスや緊張, 葛藤など広義の意味でのトラウマ体験の減少を予想する治療効果の2点を検討の主眼とした。

1. 水遊びの心理的成長効果について

30分間の水遊びをした園児 (水遊び群) と, 同じく30分間の自由遊びをした園児 (自由遊び群) の樹木画について比較したところ, GCL の成長指標が水遊び群で23名中22名に, 自由遊び群では24名中12名に出現し, 水遊び群で有意に多く出現した (表2)。このことから本調査結果を見る限り水遊びが自由遊びと比較して有意に園児の心理的成長に寄与することが明らかとなった。さらに, GCL 出現項目を見てみると, 水遊び群では, 不適應感, 優柔不斷感の緩和, 新たな役割への意欲, 自我同一性を示唆する「弱い線から線の強化・枠組みの強化」(35%), 基本的自我の強さの保持及び本能エネルギーの健全な認識と調和した昇華を示唆する「平行で歪曲のない幹, 適度な幅」(22%), 個性の成長を示唆する「幹の成長 (長さ)」(22%), 敵対的防衛もしくは攻撃的行動の緩和を示唆する「過度に濃い陰影もしくは強化された陰影の緩和」(17%) などの指標が多く出現した (表3)。一方, 自由遊び群においてもほぼ半分の園児に成長指標が見られたが, その最も示唆するところとしては「幹の成長」(25%) があげられる。両群いずれにおいても水遊び効果として個性の成長を促す効果があることが裏付けられる結果を

得た。このことから、短期水遊び保育は、個性の成長を促進し、とくに攻撃性を緩和する機能を持ち、本能エネルギーを適切な形で園児に自覚させ、それを遊びによって昇華するプロセスの展開が予想できると考えられる。これは Hartley (1952) の攻撃衝動の強い3歳女の子の水遊びによる浄化的効果の見解とも一致するものであり、集団保育によってもこうした効果がもたらされることが確認できたことは意義深いことといえよう。

短期の水遊びに心理的成長効果が認められたことを受けて、長期の水遊びによる効果についても検討したが、これについては両者に GCL を用いての項目分析結果において有意な差は認められなかった。したがって本調査結果に見る限り、水遊び効果は期間の長短に依存しないと見える。しかしながら、長期水遊び群の GCL 項目を見てみると、個性の成長を示唆する「幹の成長」(62%)、男性的および女性的支配性の影響を受容できる適切な関係性、精神的発達の統合を示唆する「用紙の偏りの緩和」(44%)、劣等感、無価値感の緩和、self-esteem の向上を示唆する「小さすぎる木の拡大」(40%)、ストレスに対する傷つきやすさや不安の解消を示唆する「地平線の出現」(20%)、また、基本的自我の強さの保持、本能エネルギーの健全な認識と調和した昇華を示唆する「平行で歪曲のない幹、適度な幅」(17%)などが頻出し、短期の水遊び効果と比較して、個性の成長はもとより、関係性の改善、自我の統合性や寛容性、self-esteem の向上といった、社会化 (socialization) を促進し、適応水準 (adaptability) を向上させることを示唆する項目が検出されたものと指摘できる。この意味で、長期水遊びでは短期水遊び効果と異なる次元において、いわば長期水遊びならではの保育効果があることが予想される。

## 2. 水遊びの治療効果について

TCL から見たトラウマからの回復、つまり TCL における項目分析で検出されたトラウマ指標の数が減じることで表現される変化を本稿では水遊びによる治療効果と呼ぶが、これにつ

いては、自由遊びとの比較においても、また短期水遊び、長期水遊びのいずれの形態においても有意差は認められず、本調査結果に見る限り水遊び保育が治療機能としては有用といえないことが示唆された。しかし、Hartley の観察例において指摘された攻撃衝動の緩和はすでに考察 1 で述べたように、長期水遊びにおいて観察されており、本稿で使用した TCL 水準における指標の減少変化を示し得るにはさらに長期の期間を必要とするのか、あるいは遊戯療法 (play therapy) における心理療法としての水遊びに求められるような特質を所有する必要があるのか、さらに綿密な計画のもとに実施した調査や詳細な事例研究による検討の余地があるものといえよう。

## 3. 今後の課題

今回の研究で各群に見られた成長指標の特徴は、勿論今回の研究の方法論から導き出された結果であるが、それはいわば描画上の指標に基づく判断であり、実際の園児一人一人の行動と照合して検討したものではない。今後の筆者らの研究課題と関心は、今回得られた結果をあらたな仮説として、園児の実際の行動上の成長的变化について保護者や保育士など日ごろ園児を身近に観察する機会のある caregiver からの詳細な観察報告と照合し再検討することにある。また、さらに長期の水遊びを行った園児の行動の変化と遊戯療法における水遊びに見られる変化との質的検討である。

## 文 献

- Bolander, K. (1977) *Assessing Personality Through Tree Drawing*. New York: Basic Books Inc.
- Bolin, B. J., Schneps, Ann., Thorne, W. E. (1956) Further Examination of the Tree-Scar-Trauma Hypothesis. *J. Clin. Psychol.*, p. 395-p. 397.
- Buck, J. N. (1948) *The H-T-P Technique A Qualitative and Quantitative Scoring Manual*. No. 5, *J. clin. Psycho.* p. 1-p. 118.
- Buck, J. N. (1953) *The House-Tree-Person*

- Technique Revised Manual. Western Psychological Services.
- Cantlay, L. (1996) Detecting Child Abuse : Recognizing Children at Risk through Drawing. Santa Barbara, CA : Holly Press. (大辻隆夫抄訳. 2000. 描画分析技法. Analyzing Drawings. 京都女子大学児童学研究. 31. p. 32-44)
- Di Leo, J. H. (1983) Interpreting Children's Drawings. New York : Brunner/Mazel.
- 深田尚彦 (1958) 幼児の樹木画描画の発達の研究. 心理学研究. 28. 5. p. 286-p. 288.
- Hammer, E. F. (1958) The Clinical Application of Projective Drawings. Thomas Books.
- 林勝造 (1994) バウムテスト論考. 臨床描画研究 IX. 金剛出版. p. 3-p. 18.
- Hartley, R. E. (1952) The Benefits of Water-Play, Chapter V. In Understanding Children's Play, Ed. Ruth, E, Hartley and Lawrence, K, Frank and Robert, M, Goldenson. New York Columbia University Press.
- Haworth, M, T (1964) Child Psychotherapy. Basic Books, Inc.
- 平井タカネ・村岡眞澄 (1996) 幼児教育法領域「健康」子どもの健康一心とからだ一(実技編). 三晃書房.
- 一谷彊 (1998) バウムテスト診断的解釈の基本理論と実際の技法( I ) : 診断的解釈の理論と手順. 京都教育大学紀要 Ser. A. No. 93. p. 55-p. 77.
- 一谷彊・林勝造・津田浩一 (1966) 樹木画テストの研究—Kochの Baum testによる発達の検討一. 京都教育大学紀要. 33. p. 47-p. 68.
- Jolles, I. A. (1971) A Catalogue for the Qualitative Interpretation of the H-T-P. Los Angeles : Western Psychological Services.
- Kaufman, B and Wohl, A. (1992) Casualties of Childhood : A Developmental Perspective on Sexual Abuse Using Projective Drawings. New York : Brunner/Mazel.
- Kami, C. and Devries, R. (1985) 吉田恒子他訳 遊びの理論と実践—ピアジェ理論の幼児教育の適用. 風媒社.
- Koch, C (1952) THE TREE TEST : The Tree-Drawing Test as an Aid in Psychodiagnosis. New York : Grune & Stratton. (林勝造他訳. 1970. バウムテスト : 樹木画による人格診断法. 日本文化科学社)
- Levine, M. and Galanter, E. (1953) A Note on the Tree and Trauma Interpretation in HTP. J. clin. Psychol. p. 74-p. 75.
- Lyons, J. (1955) The Scar on the H-T-P Tree., Consult. Psychol., p. 267-p. 270.
- 中田義朗 (1982) バウムテストの基礎的研究 (II). 西宮市立教育研究所紀要. 184. p. 35-p. 47.
- Ogdon, D, P. (1967) Psychodiagnostics and Personality Assessment : A Handbook. Western Psychological Services.
- 岡田督 (2001) 攻撃性の心理. ナカニシヤ出版.
- 大辻隆夫 (2002) 投影樹木画法におけるトラウマ指標の統合化とそれを巡る 2, 3 の問題. 京都女子大学児童学研究. 32. p. 10-p. 15.
- 高見良子・中田義朗 (1981) バウムテスト (樹木画による人格診断法) の基礎的研究(1)—教示を変えた場合の発達指標の量的検討 (予備調査). 西宮市立教育研究所紀要. 180. p. 33-p. 41.
- 安江良介 (1994) 生活と文化. 岩波書店.
- Wohl, A and Kaufman, B. (1985) Silent Screams and Hidden Cries : An Interpretation of Artwork by Children from Violent Homes. New York : Brunner/Mazel.

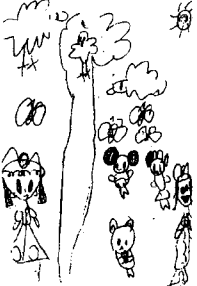
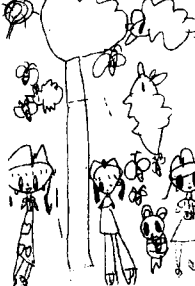
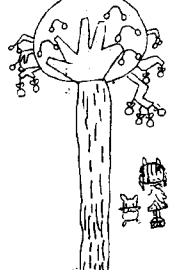
| 事例 1                                                                                |                                                                         |                                                                                       |                                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前                                                                                   |                                                                         | 後                                                                                     |                                                                                                                     |
|    | <p>TCL :</p> <p>No. 3 弱い線</p> <p>No. 40 細い幹</p> <p>No. 47 根も地平線もない</p>  |    | <p>GCL :</p> <p>No. 3 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化</p> <p>No. 34 幹の輪郭のはっきりとした線</p> <p>No. 35 並行で歪曲のない幹、適度な幅</p>               |
|                                                                                     |                                                                         |                                                                                       | <p>TCL :</p> <p>No. 47 根も地平線もない</p>                                                                                 |
| 事例 2                                                                                |                                                                         |                                                                                       |                                                                                                                     |
| 前                                                                                   |                                                                         | 後                                                                                     |                                                                                                                     |
|    | <p>TCL :</p> <p>No. 38 傷</p> <p>No. 46 地平線はあるが根がない</p>                  |    | <p>GCL :</p> <p>No. 2 小さすぎる木の拡大</p> <p>No. 34 幹の輪郭のはっきりとした線</p> <p>No. 35 平行で歪曲のない幹、適度な幅</p> <p>No. 36 幹の成長（長さ）</p> |
|                                                                                     |                                                                         |                                                                                       | <p>TCL :</p> <p>No. 38 傷</p> <p>No. 47 根も地平線もない</p>                                                                 |
| 事例 3                                                                                |                                                                         |                                                                                       |                                                                                                                     |
| 前                                                                                   |                                                                         | 後                                                                                     |                                                                                                                     |
|  | <p>TCL :</p> <p>No. 22 下向きの枝</p> <p>No. 38 傷</p> <p>No. 47 根も地平線もない</p> |  | <p>GCL :</p> <p>No. 31 濃い陰影の減少</p> <p>No. 36 幹の成長（長さ）</p>                                                           |
|                                                                                     |                                                                         |                                                                                       | <p>TCL :</p> <p>No. 22 下向きの枝</p> <p>No. 38 傷</p> <p>No. 47 根も地平線もない</p>                                             |

図 1 短期水遊び群樹木画例





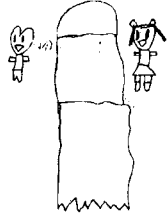
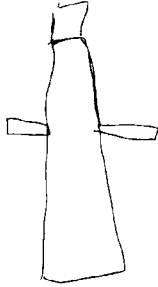
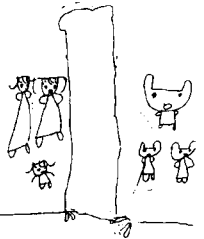

| 事例 4                                                                                |                          |                                                                                       |                                                                               |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
| 前                                                                                   |                          | 後                                                                                     |                                                                               |
|    | TCL :<br>No. 47 根も地平線もない |    | GCL :<br>No. 3 弱い線から線の強化・木の枠組みの強化<br>No. 34 幹の輪郭のはっきりとした線<br>No. 36 幹の成長 (長さ) |
|                                                                                     |                          |                                                                                       | TCL :<br>No. 47 根も地平線もない                                                      |
| 事例 5                                                                                |                          |                                                                                       |                                                                               |
| 前                                                                                   |                          | 後                                                                                     |                                                                               |
|    | TCL :<br>No. 45 地平線がない   |    | GCL :<br>No. 17 関係性が良好な枝の形態<br>No. 19 新しい枝<br>No. 36 幹の成長 (長さ)                |
|                                                                                     |                          |                                                                                       | TCL :<br>No. 47 根も地平線もない                                                      |
| 事例 6                                                                                |                          |                                                                                       |                                                                               |
| 前                                                                                   |                          | 後                                                                                     |                                                                               |
|  | TCL :<br>No. 47 根も地平線もない |  | GCL :                                                                         |
|                                                                                     |                          |                                                                                       | TCL :<br>No. 10 木と認識できない木<br>No. 47 根も地平線もない                                  |

図 2 短期自由遊び群樹木画例







| 事例 7                                                                                |                                                                                                       |                                                                                       |                                                                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 前                                                                                   |                                                                                                       | 後                                                                                     |                                                                                                     |
|    | TCL :<br>No. 38 傷<br>No. 47 根も地平線もない                                                                  |    | GCL :<br>No. 2 小さすぎる木の拡大<br>No. 11 用紙の偏りの緩和：均等な空間配置<br>No. 34 幹の輪郭のはっきりした線<br>No. 35 平行で歪曲のない幹，適度な幅 |
|                                                                                     |                                                                                                       |                                                                                       | TCL :<br>No. 38 傷<br>No. 47 根も地平線もない                                                                |
| 事例 8                                                                                |                                                                                                       |                                                                                       |                                                                                                     |
| 前                                                                                   |                                                                                                       | 後                                                                                     |                                                                                                     |
|    | TCL :<br>No. 2 小さな木<br>No. 16 用紙右側への偏り<br>No. 18 用紙上方への偏り<br>No. 31 頂上の切断，扁平な頂上部の枝構造<br>No. 45 地平線がない |    | GCL :<br>No. 2 小さすぎる木の拡大<br>No. 11 用紙の偏りの緩和：均等な空間配置<br>No. 35 平行で歪曲のない幹，適度な幅                        |
|                                                                                     |                                                                                                       |                                                                                       | TCL :<br>No. 2 小さな木<br>No. 18 用紙上方への偏り<br>No. 31 頂上の切断，扁平な頂上部の枝構造<br>No. 47 根も地平線もない                |
| 事例 9                                                                                |                                                                                                       |                                                                                       |                                                                                                     |
| 前                                                                                   |                                                                                                       | 後                                                                                     |                                                                                                     |
|  | TCL :<br>No. 10 木と認識できない木<br>No. 17 用紙左側への偏り<br>No. 46 地平線はあるが根がない                                    |  | GCL :<br>No. 2 小さすぎる木の拡大<br>No. 11 用紙の偏りの緩和：均等な空間配置<br>No. 34 幹の輪郭のはっきりした線<br>No. 35 平行で歪曲のない幹，適度な幅 |
|                                                                                     |                                                                                                       |                                                                                       | TCL :<br>No. 1 大きな木<br>No. 35 強調しすぎの幹<br>No. 46 地平線はあるが                                             |

図 3 長期水遊び群樹木画例

A Study on Benefits of Water Play in Childcare

—As Viewed by Growth Check List & Trauma Check List in Projective Tree Drawing Technique—

Takao OTSUJI    Mari SHIOKAWA  
Noe TANAKA

**SUMMARY**

The purpose of this study is to elucidate the benefits of water play in childcare as viewed by Growth Check List (GCL) and Trauma Check List (TCL) in Projective Tree Drawing Technique.

The results are the following ;

- ① The drawings by children who did water play have more growth indicators than those by children who did free play, so water play is more useful for the psychological growth of young children.
- ② There is no significant difference in the reductive change of TCL indicators in the drawings both by children of water play and free play, so we can't say that water play in childcare has therapeutic benefits.
- ③ The drawings by children of long-period water play have many significant growth indicators, so it is useful for the psychological growth of young children, but we can't say that it has therapeutic benefits.
- ④ Whether water play is in a short period or in a long period, there is no significant difference of the benefits on young children's psychological growth between these two, but short-period water play can reduce the aggressive impulses and long-period water play facilitates the development of individuality and ego integration of young children.

Keywords : water play, childcare, GCL, TCL, tree drawing